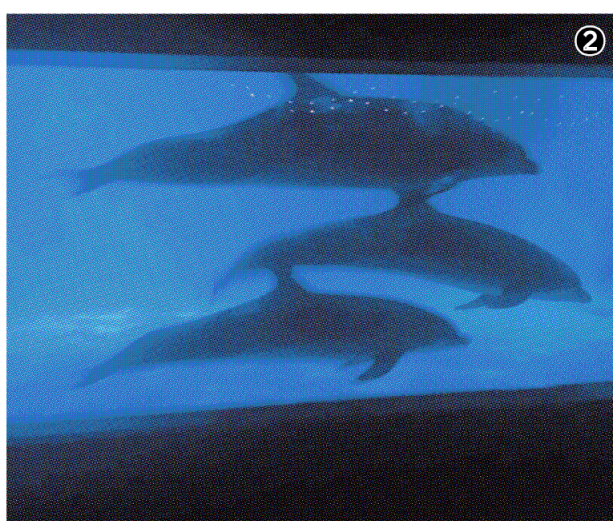
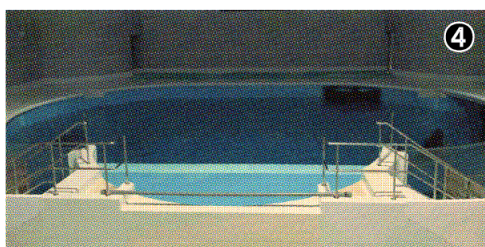
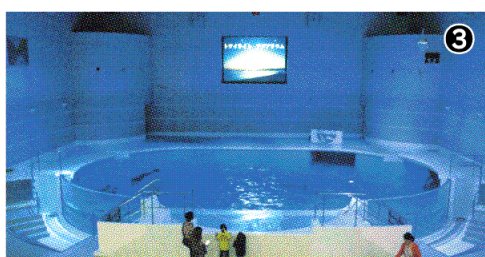
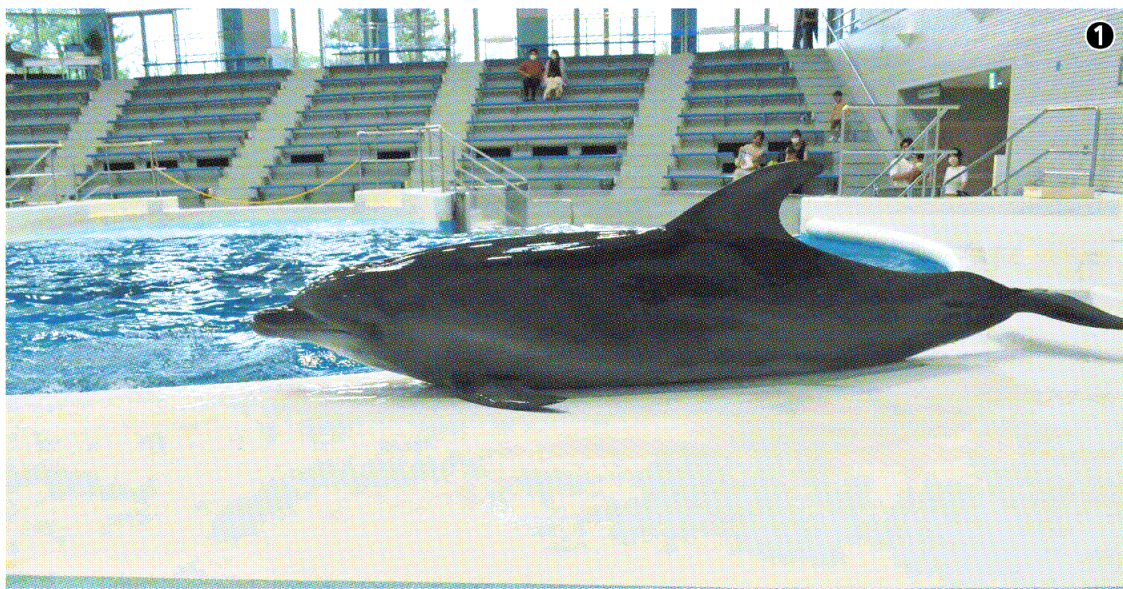


① ステージを滑って遊ぶイルカ ② イルカたちは暗くなると並んでゆっくり泳ぎます ③ 夜間の姿を見学できるトワム
イルカアクアリウム ④ 照明を消したイルカプール



かごしま水族館では、現在8頭のハンドウイルカを飼育しています。みなさんが目にするのが少ない、イルカたちの夜の様子を紹介します。

昼間の自由時間には、活発に速く泳いだり、追いかけあいながら遊んだり、けんかをしたりと、さまざまな様子を観察することができます。加えて健康管理のために、イベント「いるかの時間」やトレーニングの際に、ジャンプなどの運動をしてもらっています。

夜間はプールの水位を昼間より60センチ下げます。理由は、イルカがステージに上陸できないようにするためです。

ステージの上を滑って遊んでいるときに、まれに子どもがイルカがプールに

夜のイルカ 半分の脳だけ休む

戻れなくなることがあります。昼間は職員が戻りますが、夜間はそうはいきません。水から長時間上がったままだと、皮膚が乾燥して、やけどのようなケガにつながる場合があります。

閉館後、プールの照明が消えると、活発だったイルカたちの様子はしだいに変化し、並んでとてもゆっくりとした泳ぎ方になります。これはイルカが休んでいるときの状態です。ヒトは睡眠中も無意識に呼吸していますが、イルカは意識的に水面で呼吸をしないと溺れてしまいます。捕食者や船などの障害物から身を守るため、危険を察知する必要もあります。そのため睡眠中のイルカは、脳の半分を休ませ、もう半分で周りの状況を把握する「半球睡眠」と呼ばれる方法をとっています。

夏休みやゴールデンウィークには夜間イベント「トワイライトアクアリウム」があります。幻想的な照明に照らされながら夜の動きに変わっていくイルカたちを、ぜひ観察してみてください。(海獣展示係飼育員・大瀬智尋)